

**平成 29 年度 研究成果報告書**  
**Research Achievement Report FY2017**

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座（トルコ語） 教授
氏名 Name	大澤 孝
専門分野 Academic Field	古代テュルク語碑文の調査研究と古代テュルク系遊牧民の歴史と文化

主たる研究テーマ Principal Research Subject	古代テュルク語碑文・遺跡の現地調査を通して見た古代テュルク系遊牧民の歴史と文化
<p>本年度では 9 月 2～9 月 24 日に、モンゴル科学アカデミー歴史学研究所考古学研究センターとの学術協定に基づき、モンゴル東部のスフバートル県テブシンシレーのドンゴインシレー遺跡・碑文について、遺跡を発掘調査し、そこから出土した突厥文字碑文の解読のための基本データや、被葬者を埋葬もしくは追悼する際の犠牲獣として埋葬された動物骨や（木）炭などの出土遺物の発掘調査を行ない、遺跡全体のプランの再構築とその作成過程を復元するための基本データの収集に努めた。また、碑文内容についても同時代の碑文や漢文文献との比較を通して分析を行った。</p> <p>また 12 月 8 日には 2016 年と 2017 年の発掘調査成果について、大阪大学でプレス・リリースを行うと共に、12 月 10 日には、大阪大学中之島センターで、「モンゴル考古学のいまー東部モンゴルの突厥碑文・遺跡の調査研究」と題する国際シンポジウムを一般参加者も迎えて、開催し、盛会となった。</p> <p>また、平行して私が代表者として遂行している日本・ハカス共和国の「古代クルグズ族の古代碑文・遺跡」に関する共同碑文・遺跡調査プロジェクトについても、今年は、5 月上旬 10 日間ほど、ロシア連邦ハカス共和国を訪れ、アバカン市にあるハカス言語文学歴史研究所の考古学者と共同して、ハカス国のアスキス地方にある紀元後 8～11 世紀頃の古代クルグズ遊牧民に関する墓碑銘、青銅器時代以降の岩壁画やタムガなどについて共同調査を実施した。当該地方の歴史文化を復元するための関係データを収集した。</p>	